

令和3年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 大新小学校
校長氏名	山本 恵子
作成日	令和 4年 2月 14日

1 教育目標

豊かな情操とまろやかな英知を育み、たくましく生きる子どもを育てる。

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査において、国語・算数ともに県平均並みの結果を目指す。 ・児童アンケートの「私は毎日の勉強がわかる」の項目で「(まあ)そう思う」90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートの「私は学校が楽しい」の項目で「思わない、あまりそう思わない」5% ・保護者アンケートの「楽しそうに学校に通っている」の項目で「(まあ)そう思う」95%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室が実施する元気大作戦(生活アンケート)で、運動や体を動かす遊びの達成率90% ・睡眠時間の確保(生活アンケート) 達成率90% 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの「学校の様子を、わかりやすく伝えている。」の項目で「(まあ)そう思う」90% ・地域や公民館などと連携した取り組みを、各学年1つ以上実施する。
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎話し合い学習を取り入れた子ども主体の授業づくり ○読書活動の推進 ○書く活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎道徳、人権教育の充実 ○自己肯定感の高揚 ○やさしさ、思いやりを持った子どもの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎気力・体力の充実した子どもの育成 ○基本的生活習慣の定着 ○健康・安全についての知識と習慣の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校の情報公開の推進 ○保護者や地域、関係機関との協力・連携の深化 ○学校運営協議会制度の活用
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども主体の話し合い学習の工夫(課題・展開・形態等)を行った。 ○多くの場面で書く活動を取り入れた授業を行った。 ○学級図書や図書コーナー、図書室の本を利用して、本に親しむように努めた。 ○全学年において自主学習への取組を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「心根のやさしい子」を目指し、お互いに支え合い認め合う「笑顔で素敵な」学校・学級づくりを進めた。 ○「心ふれあい単元」を計画し、道徳の時間の充実に努めた。 ○人権意識を高める人権教育についての授業を実施した。 ○なかよし(全校縦割り)活動や青少年赤十字活動の取組を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○なかよし活動で朝マラソンやなわとび、ラジオ体操等の取組を行った。 ○休憩時間等に教師も運動場に出て、子どもと一緒に活動することで積極的に運動する子どもを育てた。 ○「早寝・早起き・朝ごはん」手洗い等基本的な生活習慣を確立させるよう働きかけた。 ○避難訓練や交通安全教室を行い、健康・安全について学んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・学年だよりや学校ホームページ等を活用して積極的に情報発信を行った。 ○大新太鼓、読み聞かせ等、ゲストティーチャーや学校ボランティアなど外部講師を積極的に活用した。 ○大新クラブ、公民館、社会福祉協議会等「ふれあい教室」や「人権標語」等で、地域との積極的な交流を進めた。
取組の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・4、5年生の県学力到達度調査は、県平均並みの結果もしくはそれ以上であったが、4年生の算数だけ0.6ポイント平均より低かった。 ・児童アンケートの「私は毎日の勉強がわかる」の項目で「(まあ)そう思う」91%であった。すべての児童に自信と自己肯定感を持たせるため、支援を充実させたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートの「私は学校が楽しい」の項目で「思わない、あまりそう思わない」3%、保護者アンケートは90%が「楽しそうに通っている」に対して好評価であった。毎日を楽しむ気持ちから、豊かな心が育成されると考えられるので、引き続き指標として提示したい。 ・「友達と仲良くしている」では、97%の児童が好評価であった。思いやりや公正公平についての道徳の授業を大切に、心の教育を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気大作戦で、運動や体を動かす遊びの達成率が9月ではわずかに90%に届かなかった。また、コロナ禍ということもあり、冬季はさらに達成率が低下したので、外遊びの啓発を行いたい。 ・就寝時刻は改善傾向にあり、それに伴って睡眠時間の達成率が上がってきているが、80%には届かなかった。テレビやゲーム、ネットの時間と関連させながら継続して指導をしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校の様子を、わかりやすく伝えている。」の項目で「そう思う」「まあそう思う。」で、90%の評価をいただいた。これからも、より工夫した発信を行っていく。 ・2学期は、感染が落ち着いていたので、ゲストティーチャーや地域の先達による授業を受け、専門的な技術や知識を学ぶとともに、外部講師の先生方と交流することができた。
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の学習が楽しくなるよう、研究工夫を行い授業改善に取り組む。 ・自主学習ノート・作文・読書等、子どもが自主的に学習に取り組めるように指導する。 ・家庭学習について、家庭の協力を得られるように、懇談会やお知らせ等で啓発を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての子どもが楽しいと思う学校になるよう、一人一人に寄り添い取り組んでいきたい。 ・指導が必要な場面で、即座に対応するとともに、関連する教材で、学習を深め、子どもの人権意識や思いやりの心を高める取り組みを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康や体づくりへの意識を定着させるために、朝のなかよし活動の取り組みを継続させていく。 ・家庭での生活習慣について保護者への啓発をさらに進め、連携して取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の配付物やホームページで、連絡事項だけでなく、日頃の子どもの様子や出来事などについて積極的に発信するようにする。 ・ゲストティーチャーや地域の方々を招聘し、豊かな学びや体験を行い、交流を深める。

3 その他の課題

・コロナ禍の影響で、予定していた学習や行事が行えなかったり、縮小したりすることが度々あり、今までのようには、家庭と地域の皆さんと連携しながら学校運営を進めていくことができなかった。音楽会や昔遊びの会、感謝の集会、お年寄りの方とのふれあい会等コロナ禍の終息とともにいつでも再開できるよう記録を残し準備をすると同時に、それらに代わる取組を考えていきたい。